

経営比較分析表（令和元年度決算）

京都府綾部市 綾部市立病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	200床以上～300床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
指定管理者(代行制)	21	対象	ド透 未 訓 方	救 臨 へ
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	看護配置	
33,212	17,662	非該当	7 : 1	

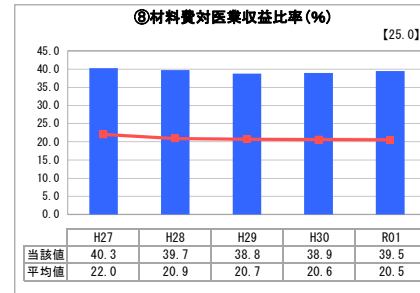
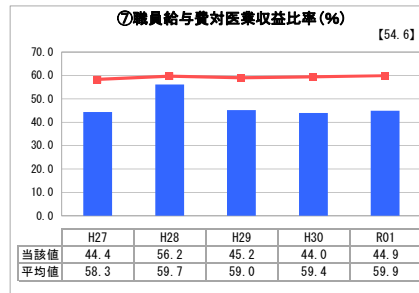
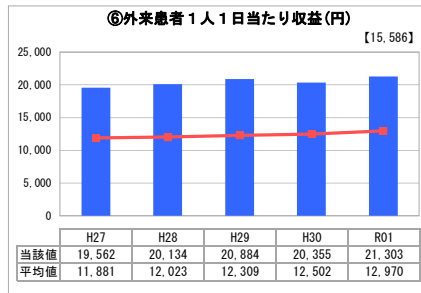
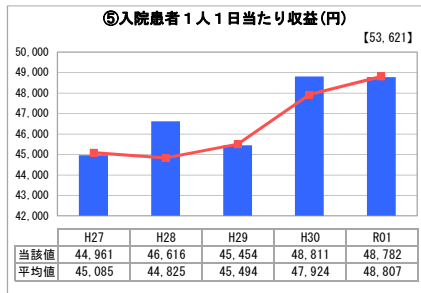
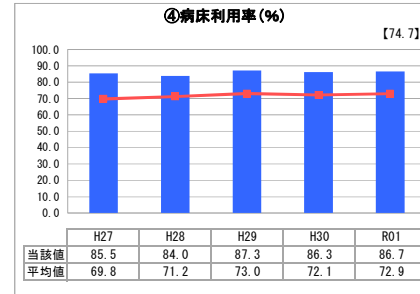
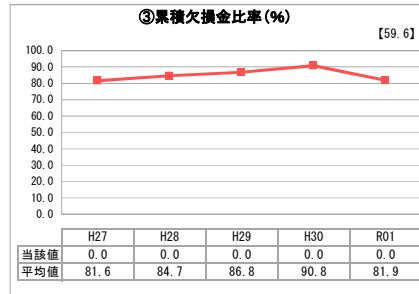
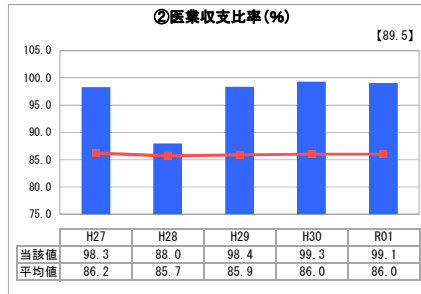
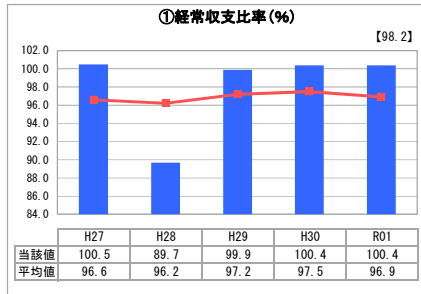
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

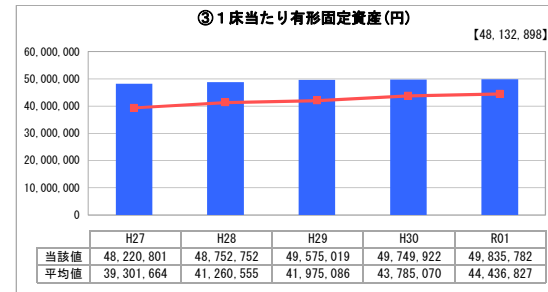
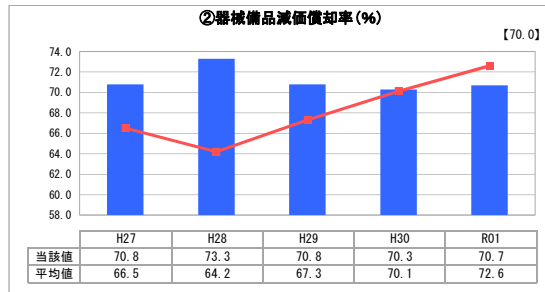
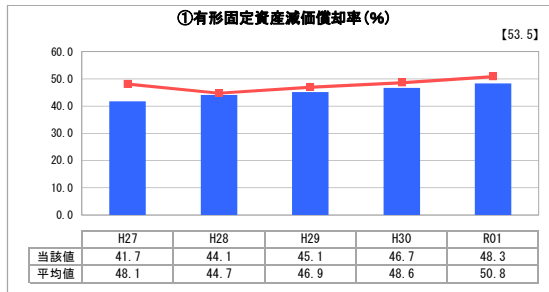
許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
206	-	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	-	206
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
206	-	206

グラフ凡例	
■	当該病院値(当該値)
—	類似病院平均値(平均値)
[]	令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組(直近の実施時期)

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	平成18
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

綾部市立病院は市内唯一の公立病院であり、急性期の地域中核病院としての役割を担っています。また、平成28年5月からは地域包括ケア病棟を50床導入し、回復期・慢性期病床も望む地域ニーズに応える病院となっています。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は、前年度に引き続き100%を上回り、単年度収支が黒字となっています。
 ② 医業収支比率については、類似病院平均値より高い値となっており、効率的な医業活動が実施できています。
 ③ 病床利用率は、類似病院平均値を大きく上回っており、効率的なベッドコントロールが実施できています。
 ④ 入院患者1人1日当たり収益及び⑥ 外来患者1人1日当たり収益は類似病院平均値と同等かそれ以上となっており、高い収益率となっています。
 ⑦ 職員給与と費対医業収益比率は、類似病院平均値より低い値となっており、効率的な病院運営が実施できています。
 ⑧ 材料費対医業収益比率は、当院は院内処方を実施しているため、類似病院平均値より高い値となっています。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率及び② 器械備品減価償却率は類似病院平均値と近く、適切な数値と考えられます。
 ③ 1床当たり有形固定資産は、平成27年度に完了した第4次整備事業の影響により、類似病院平均値を大きく上回っています。

全体総括

令和元年度は入院患者数の増等により、経常収支比率が100%を超え、比較的安定した病院経営ができました。しかしながら、今後は市内人口の減少や常勤医師の不足などにより、経営状況は一層厳しくなっていくものと予想されます。病院経営を安定的に行うため、高い病床利用率を維持するとともに、病診・病病連携などによる新規患者獲得や経費削減に取り組み、経営の健全化に努めていきます。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。